

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築環境・設備特論											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山田 盛久			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
この授業では教科書を利用した講義と国家試験同等の問題を中心に演習、解説を行うことで2級建築士同等レベルの実践的知識の習得を行う。同時に模擬試験を実施、国家資格合格を目指す。											
到達目標											
この科目では、2級建築士学科試験の計画分野及び施工分野のエンジニアリング部分（計画原論及び施工分野の一部）について演習を中心に学習を行う。問題演習を行い、解説をよく聞き、知識を深めて、学科試験に合格できる実力をつけることが目的である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
教科書、問題集、資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	腕試し模試 計画各論及び施工分野について到達度を把握する										
第2回	計画原論 1 気候空気、熱、光										
第3回	模擬試験 1 模擬試験を行い到達度を把握する										
第4回	施工原論1 地盤調査、土工事、基礎工事										
第5回	計画原論 2 音、色彩、用語単位										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築環境・設備特論	
第6回	施工原論2 鉄筋工事、型枠工事
第7回	模擬試験2 模擬試験を行い到達度を把握する
第8回	計画原論3 空気調和設備、給水設備
第9回	施工原論3 木工事、屋根工事
第10回	計画原論4 排水衛生設備、電気照明設備
第11回	計画原論4 排水衛生設備、電気照明設備
第12回	模擬試験3 模擬試験を行い到達度を把握する
第13回	計画原論5 消火防災設備、省エネルギー、用語他
第14回	施工原論5 測量、積算
第15回	試験 本試験と同等の試験により採点を行う